

多くなると半促成の春出荷から季咲開花となる。

フタバ印のタネ

感動と満足の種子

埼玉県久喜市野久喜1-1

野原種苗株式会社

電話 (0480) 21-0002(代)

FAX (0480) 23-5005

タネは1番・デンワは2番

誠意と確実の表徴



フタバ印

(5)ワンポイント

営利栽培では、低温非要求品種を用いた主枝一本切り栽培が容易。

物質が多く含まれるのは湿った土地であり、湿害とも結びついている。

私が住んでいる十勝平野では、台地の部分はほとんど火山灰によって覆われているが、その上には黒い土(多湿黒ボク土)と淡い褐色の土(腐植質褐色黒ボク土)が帯状に並行して分布している。これは地下水の流れを反映したものである。

分解されにくい構造

黒い土に含まれる暗色の有機物(腐植物質)は安定化された有機物である。土に毎年加わる植物遺体や動物の排泄物や遺体などの有機物は速やかに分解されて他の植物や動物のエネルギーおよび養分となり、安定化され

た有機物として残る割合はほんの一部に過ぎない。通気性の良い土壌においては安定化される有機物の割合はさらに低くなる。

しかし、チェルノーゼムや黒ボク土などの特殊な土壌条件下で安定化された有機物は分解されにくい化学構造を獲得しているため、長い年月の後には土壌中に多量に蓄積することになる。

安定化された土壌有機物は土を柔らかくし、水分や土壌養分を保持すること、一部の低分子成分は金属イオンの輸送を司ることや生理活性を示すことなどによって、土壌の肥沃度に貢献している。

また自然の植物や作物が光合成によって二酸化炭素から合成した有機物を土壌中に隔離することにより、地球温暖化の緩和にも貢献することができる。

排水で二酸化炭素に

植生由来の有機物を安定化させるもう一つの方法は、水中に堆積させることである。泥炭地の有機物はその例であるが、農地として作物生産に利用することはできない。

地球温暖化の抑制という観点からは泥炭地は大きな貢献をしている。しかし、いったん泥炭地を排水したり干拓すると、泥炭を構成する植物遺体は急速に分解されて二酸化炭素になってしまう。